

防水性能について

WX330Jは、電池カバーを取り付けてロックレバーをしっかりとロックし、イヤホンマイク端子やUSB端子のキャップをしっかりと閉めた状態で、IPX5相当/IPX7相当の防水性能（当社試験方法による）を有しておりますが、これは完全防水を保証するものではありません。
下記の注意事項をお読みのうえ、適切な方法でご利用されるようお願いいたします。

防水性能について

IPX5 相当の防水性能

WX330JはIPX5相当の防水性能を有しています。

防水性能IPX5相当とは、本電話機のロックレバーをしっかりとロックし、イヤホンマイク端子やUSB端子のキャップをしっかりと閉めた状態で、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

IPX7 相当の防水性能

WX330JはIPX7相当の防水性能を有しています。

防水性能IPX7相当とは、本電話機を常温の水道水、かつ水深1mの静水に、ロックレバーをしっかりとロックし、イヤホンマイク端子やUSB端子のキャップをしっかりと閉めた状態で静かに沈め、30分間放置後に取り出した後に電話機としての機能を有することを意味します。

※耐水圧設計ではありませんので、高い水圧で水をかけたり、長時間水中に放置したりなどはしないでください。

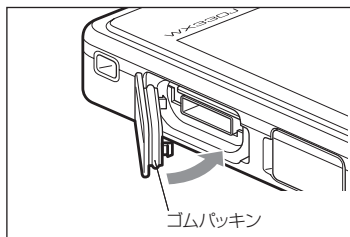
実際の使用に当たって、すべての状況で動作を保証するものではありません。弊社内で調査した結果、お客様の不適切な使用による故障と判明した場合には、保証対象外となります。

ご使用前には

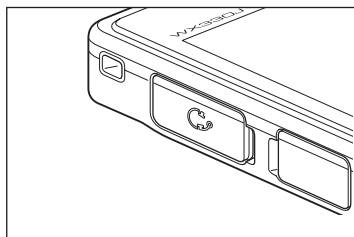
防水性を保持するために、次の3点を必ずご確認ください。

● イヤホンマイク端子のキャップ

キャップ周辺部分にゴムパッキングが付いていることを確認してから、きっちりと閉じてください。



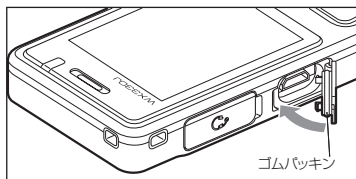
1. キャップを押し込みます。



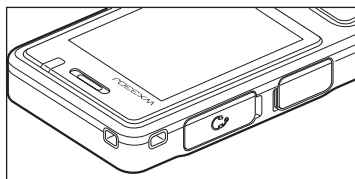
2. きっちりと閉まったことを確認します。

● USB端子のキャップ

キャップ周辺部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、きっちりと閉じてください。



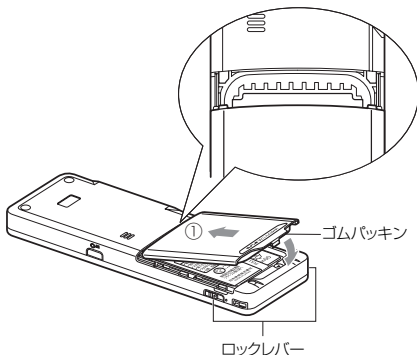
1. キャップを押し込みます。



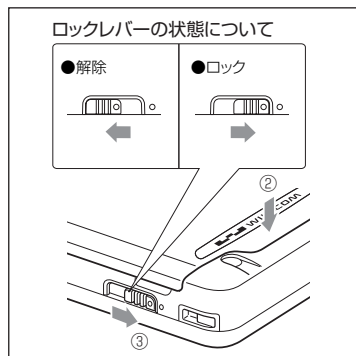
2. きっちりと閉まったことを確認します。

● 電池カバー

電池カバー裏面の接合部分にゴムパッキンが付いていること、また左右のロックレバーが解除されていることを確認してから、以下の要領で取り付けてください。



1. 電池カバーのツメを本体の内側に入れ、本体と電池カバーの間にすき間が生じないように①の方向に押さえながら、電池カバーを閉じます。



2. 電池カバーを②の方向に押し込み、本体の左右にあるロックレバーを③の方向にスライドさせレバーをロックします。最後にきっちりと閉まったことを確認します。

ご注意

- ロックレバーは必ず左右両方をロックするようにしてください。片方だけロックした状態では、十分な防水効果を得られず、本体内部への浸水の原因となります。
- 電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

本電話機の防水上の注意事項

- ・電池カバーを本電話機に取り付けて、本体左右両側にあるロックレバーでしっかりロックしてください。またイヤホンマイクの端子やUSB端子のキャップをしっかりと閉めてください。電池カバーやキャップが浮いているところがないことを確認してからご使用ください。すき間に髪の毛1本程度の微細なものでも挟まった場合、水が付着した際に本体内部に浸水することがあります。
- ・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップ、およびUSB端子のキャップが開いている状態または、電池カバーのロックレバーが解除された状態で水などの液体がかかった場合、本体内部に浸水し、感電や故障の原因となることがあります。その場合には、使用を中止し、電源を切り、電池パックを外し、ウィルコムサービスセンターへご連絡ください。「お問い合わせ窓口」(※A-10ページ)
- ・水につけた状態では使用(キャップ等の開閉やキー操作も含む)しないでください。また水中に長時間放置しないでください。故障の原因になります。
- ・手が濡れているときや本電話機に水滴が付いている状態で、電池カバー、イヤホンマイクの端子のキャップおよびUSB端子のキャップの開閉をしないでください。
- ・電池カバー、イヤホンマイクの端子のキャップおよびUSB端子のキャップのゴムパッキンに水滴や汚れ、砂粒、泥などがわずかでも付着している場合、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。
- ・海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品などの入った水には絶対につけないでください。もし、誤って付着した場合、そのままにせず、すみやかに洗面器などに溜めた水道水で洗ってください。洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーのロックレバーをしっかりとロックした状態で、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップが開かないように押さえたままで洗ってください。また、蛇口からの流水は直接当てないでください。



海水



温泉



プール



せっけん / 洗剤 / シャンプー / リンス



入浴剤



流水

- ・送話口(マイク)、スピーカなどを先がとがったものでつかないでください。防水性能が損なわれる原因となります。
- ・送話口(マイク)、スピーカに水滴を残さないでください。通話不良の原因となる恐れがあります。
- ・本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯をかけたり、サウナで使用したり、またドライヤなどの熱風を当てたりしないでください。
- ・本電話機は防湿設計ではありません。お風呂場、キッチンなど、湿気の高い場所には長時間放置しないでください。
- ・本電話機の防水性能は、常温の真水・水道水にのみ対応しています。
- ・本電話機を落下させると、衝撃により傷の発生や防水性能を劣化させることがあります。本電話機を落下させるなどした場合には、防水性能の保証を負いかねます。取扱いには十分ご注意ください。
- ・電池カバーが破損した場合には内部に水が入り、感電や電池の腐食など故障の原因となります。その場合は電池カバーを交換してください。
- ・本電話機を砂浜などの上に直接置かないでください。送話口(マイク)スピーカなどに砂粒などが入り、音が聴き取りにくくなる恐れがあります。
- ・卓上ホルダ、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。水分や湿気のある場所で使用しないでください。

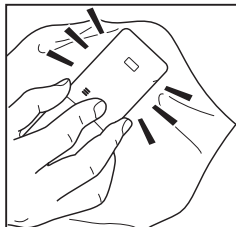
濡れたときには

・本電話機が濡れたときには、乾いた手で、乾いた柔らかい清潔な布をご使用の上、次の手順で丁寧に拭いてください。

1 電源を切る

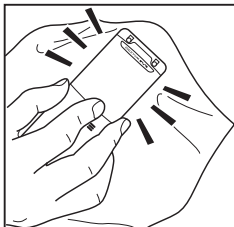
2 受話口、送話口、スピーカ、アルミカバーの裏面に入った水を軽くたたいて取る

●受話口の場合



図のように本電話機を持ち、軽くたたいて受話口に入った水を布でふき取ってください。

●送話口の場合



図のように本電話機を持ち、軽くたたいて送話口に入った水を布でふき取ってください。

●スピーカとアルミカバーの裏面の場合



図のように本電話機を持ち、軽くたたいてスピーカとアルミカバーの裏面に入った水を布でふき取ってください。

3 本電話機全体を拭く

4 電源を入れる

- ・充電端子、イヤホンマイク端子およびUSB端子がショートする恐れがあるため、水滴が付着したまま放置しないでください。また、濡れている状態で充電しないでください。
- ・寒冷地で本電話機に水滴が付着したまま放置すると凍結することがあります。凍結した状態で使用すると故障の原因になりますので、水分が付着したら必ず拭き取ってください。
- ・本電話機に水滴が付着した状態で放置しないでください。本電話機はボタンの周囲に水分が入り込む構造になっていますが、水分が入り込んだ場合は本電話機を垂直にし、軽くたたくなどして払い落としてください。その際、本電話機を落下させないように十分注意してください。払い落とせず残った水分は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。
- ・本電話機に水や雪がついた状態のままにすると、本体に付着した水や、すき間にたまった水で服やバッグを濡らす場合がありますのでご注意ください。

利用シーン別の注意事項

雨の中で

- ・電池カバーのロックレバーをしっかりとロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかりと閉じた状態で、雨の中で使用することができます。
- ・「やや強い雨*」の中で、傘をささずに通話できます。
- ・雨の中や、手が濡れているとき、あるいは水滴が付いたままの電池カバーの取り外しや、イヤホンマイクの端子やUSB端子のキャップの開閉は絶対に行わないでください。

*やや強い雨とは、1時間の雨量が20mm未満。

洗う

- ・汚れた場合、洗面器などに溜めた水道水で洗うことができます。

- ・洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーのロックレバーをしっかりとロックした状態で、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。
- ・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。また、洗面器などの水の中に、長時間放置しないでください。
- ・本電話機は水に浮きません。水の中に投げ入れたりせずに、手で持った状態で取り扱ってください。
- ・本電話機を洗濯機や超音波洗浄機や食器洗い機などに入れて洗わないでください。

お風呂場で

- ・電池カバーのロックレバーをしっかりとロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかりと閉じた状態で、お風呂場で使用することができます。濡れた手で持って通話することもできますが、湯船にはつけないでください。
- ・水道水や真水の中につけることはできませんが、温泉や石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤などの入った水にはつけないでください。
- ・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。故障の原因になります。
- ・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
- ・使用する場所によっては、電波が入りにくくなることがあります。
- ・使用場所の急激な温度の変化は、結露の原因となり、故障につながります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本電話機を持ち込む場合には、本電話機が常温になったことを確認してから持ち込んでください。
- ・ディスプレイパネルの内側に結露が発生した場合には、結露が取れるまで常温の状態では放置してください。
- ・お風呂場での長時間のご使用は避けてください。
- ・本電話機を浴槽につけたり、落下させたりしないよう注意してください。
- ・本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤなど）を当てたりしないでください。
- ・周囲温度0℃～40℃、湿度35%～85%の範囲で使用してください。
- ・卓上ホルダ、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。お風呂場には持ち込まないでください。

キッチンで

- ・電池カバーのロックレバーをしっかりとロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかりと閉じた状態で、キッチンで使用することができます。
- ・石けん、洗剤、調味料、ジュース、お茶、果物の果汁など、水道水以外のものをかけたり、つけたりしないでください。
- ・耐熱設計ではありませんので、ポットのお湯などの熱湯や冷水をかけたり、つけたりしないでください。
- ・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
- ・耐熱設計ではありませんので、コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になるところには置かないでください。

プールサイドで

- ・電池カバーのロックレバーをしっかりとロックし、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップをしっかりと閉じた状態で、プールサイドで使用することができます。
- ・濡れた手で持って通話することもできますが、プールの水などの薬品が含まれている水につけたり、落下させたりしないでください。
- ・水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。故障の原因になります。

- ・プールの水がかかった場合は、洗面器などに水道水を溜めて洗い流してください。洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーのロックレバーをしっかりロックした状態で、イヤホンマイク端子およびUSB端子のキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。
- ・炎天下で高温になる場所で使用したり、放置したりしないでください。

充電する際の注意事項

- ・卓上ホルダ、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
 - 水に濡れた後に充電する場合は、乾いた柔らかい清潔な布で水を拭き取ってから充電してください。
 - 充電の際にUSB端子のキャップを開いた場合には、充電後にキャップをしっかり閉じてください。
 - 本電話機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や本体内部の回路がショートするなどして、火災や故障の原因となります。
 - 卓上ホルダ・ACアダプタを濡れた手で触れないでください。感電の原因となります。
 - 卓上ホルダ・ACアダプタは、水のかからない場所で使用してください。濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。
 - 卓上ホルダ・ACアダプタは、お風呂場、キッチン、サウナ、洗面所などの水周りや湿気が多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・充電時は、卓上ホルダをご使用ください。USB端子のキャップを開けてACアダプタと接続しても充電できますが、卓上ホルダを使用することでキャップの閉め忘れや、すき間に異物が挟まることを防ぐことができます。本体とUSB端子のキャップとのすき間に異物が挟まると防水性が保持できないことがあります。

ゴムパッキンについての注意事項

本電話機の電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップの周囲のゴムパッキンは、防水性能を保持するために非常に重要な役割を果たします。そのため以下の点に注意してください。

- ・ゴムパッキンをはがしたり、傷付けたりしないでください。
- ・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップを閉める際はゴムパッキンを挟み込まないよう注意してください。挟み込んだまま無理やり閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が保持できなくなる場合があります。
- ・常温の真水や水道水以外の液体（海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品、汗などの入った水）が付着すると、防水性能を維持できなくなる場合があります。
- ・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となることがあります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。
- ・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップおよびUSB端子のキャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、本体内部に浸水する原因となります。
- ・電池カバー、イヤホンマイク端子のキャップ、およびUSB端子のキャップを閉じるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。

ご注意

- 防水性能を維持するために、異常の有無に関わらず定期的なメンテナンスをお勧めします。
- メンテナンスはWX330Jをお預かりして有償にて承ります。詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。「お問い合わせ窓口」(P. A-10ページ)